

学科名	学年	教科	科目	単位数	教科書	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
普通科・薬業科 商業科・海洋科	第1学年	公民科	現代社会	2	現代社会(東京書籍)				
科目の目標	広い視野に立って、現代の社会と人間についての理解を深めさせ、現代社会の基本的な問題について主体的に考察し公正に判断するとともに、自ら人間としての在り方生き方について考察する力の基礎を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。								
評価の観点	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解					
	現代の社会と人間にかかわる事柄に対する関心を高め、意欲的に課題を追求するとともに、平和で民主的なよりよい社会の実現に向けて参加、協力する態度を身に付け人間としての在り方生き方についての自覚を深めようとする。	現代の社会と人間にかかわる事柄から課題を見だし、社会的事象の本質や人間の存在及び価値などについて広い視野に立って多面的・多角的に考察し、社会の変化や様々な考え方を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現しているか。	現代の社会と人間にかかわる事柄に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。	現代の社会的事象と人間としての在り方生き方にかかわる基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。					
単元名	項目名	学習到達目標		補助教材	評価方法				
第1部 わたしたちの生きる社会	テーマ1 地球環境問題 テーマ2 資源・エネルギー問題 テーマ3 科学技術の発達と生命 テーマ4 情報化の進展と生	・4つの「クローズアップ」の課題について幸福・正義・公正の観点から考えることができる。		最新図説現社(浜島書店) 現代社会要点サブノート(東京書籍)	生徒観察 ノート				
第2部 第1章 青年期と自己形成の課題	1 現代社会と青年の生き方 ①現代社会と青年 ②青年期の発達課題 ③自己形成と社会とのかかわり テーマ2 資源・エネルギー問題	・現代社会の特徴であるグローバル化の進展や少子高齢化と人口減少の進行について具体的に理解し、今後の社会における課題や、青年とのかかわりについて考察できる。 ・青年期の心理的、社会的な特色を理解すると同時に、現代社会に特有の青年の在り方について考えることができる。			生徒観察 確認テスト 生徒観察 ノート				
	2 よりよく生きることを求めて ①哲学と人間 ②宗教と人間	・よく生きることを追求したソクラテス、プラトン、アリストテレスの思想、心の持ち方やよりよい生き方を求めた孔子などの儒家、老子や荘子などの道家の思想を理解できる。 ・世界三大宗教が人間をどのようにとらえ、救いはどのようにもたらされるととらえているかなどについて、比較しながら考えることができる。			生徒観察 確認テスト				
	③近代科学の考え方 ④人間の尊厳 ⑤人間性の回復を求めて ⑥日本の伝統思想の考え方 ⑦外来思想の受容と日本人の自覚	・人間の尊厳を理性の働きによって説明したカントや理性の社会における具体化を主張したヘーゲル、幸福と正義の関わりを考えたアダム・スミス、ベンサム、J.S.ミルの思想について理解することができる。 ・外来思想の受容という点から儒教、国学、明治期の思想を系統的に整理しながら、学習することができる。			生徒観察 確認テスト				
第2章 日本国憲法と民主政治	1 民主政治とは ①民主政治の成立 ②基本的人権の確立 ③世界の政治体制	・民主政治の基本的な考え方を理解できる。 ・基本的人権や法の支配、立憲主義の意義、自由権から社会権へ向かう人権の歴史的展開について理解できる。 ・議院内閣制と大統領制の特色を三権の関係などの視点から理解するとともに、社会主義国の政治体制について理解できる。			生徒観察 発表				
	2 日本国憲法の基本原理 ①日本国憲法と三つの原理 ②基本的人権の保障(1) ③基本的人権の保障(2) ④新しい人権と人権保障の広がり ⑤平和主義と安全保障(1) ⑥平和主義と安全保障(2)	・大日本帝国憲法と日本国憲法とを比較しながら学習できる。 ・「自由権」の「自由」の意味についてや、自由権と比べた社会権の意義についても考えることができる。 ・新しい人権を環境問題や情報化の進展など、社会の変化との関連で考えることができる。 ・日本国憲法に定める平和主義の内容を確認し、日本の防衛と自衛隊のかかわり、安全保障に関する日本とアメリカの関係などについて考察できる。			生徒観察 ノート 確認テスト 生徒観察 発表				
第3章 現代社会と法	4 現代政治の特質と課題 ①選挙のしくみと課題 ②政党と利益集団 ③世論と政治参加	・近代選挙の四原則、選挙制度の概要、日本の選挙制度の仕組みについて理解し、「一票の格差」など選挙制度をめぐる課題について考察できる。			発表				
第4章 現代の経済と国民福祉	1 現代社会と法 ①法の働き ②社会生活と法 ③司法と人権 1 経済のしくみ ①経済社会の変容 ②現代の企業 ③市場経済のしくみ ④国民所得と経済成長 ⑤金融のしくみと働き ⑥中央銀行の役割と金融の自由化 ⑦政府の役割と財政	・法の特色、法の種類、法と道徳や正義との関係、法の支配の意味について理解できる。 ・刑事司法の意味や原則、刑事裁判の制度、裁判員制度について理解し、日本の司法と人権の課題について考察できる。 ・産業革命を契機に資本主義経済が成立したことや、アダム・スミス・ケインズの理論、資本主義の現在について理解できる。 ・経済主体の一つである企業の役割、企業の活動、株式会社の特色、国際化に伴う変化、企業の社会的責任について理解できる。 ・金融システムの仕組み、資金を融通する方法としての直接金融、間接金融、通貨制度、信用創造について理解できる。			発表 発表 ノート 生徒観察 発表				
第5章 国際社会と人類の課題	2 変化する日本経済 ①戦後復興と高度経済成長 ②産業構造の転換と国際経済環境の変化 ③バブル後の日本経済 ④中小企業と農業 3 豊かな生活の実現 ①自立した消費者への道 ②労働者の権利 ③現代の雇用・労働問題 ④社会保障の役割 ⑤環境保全と循環型社会	・第二次世界大戦後の経済復興にかかわる諸改革や高度経済成長の経過や背景について理解できる。 ・平成不況の状況、「失われた10年」といわれた時期の日本経済、構造改革の特徴とそれがもたらした様々な問題について理解できる。また、日本経済の現状と課題について考察することができる。 ・消費者問題の事例を調べ、問題の発生の原因や背景について考えることができる。 ・労働契約の特性、労働組合、労働運動、労働者の権利の必要性、労働に関する法制を理解するとともに、バブル崩壊以降の労働や雇用環境の変化、様々な課題について理解することができる。 ・バブル経済崩壊以降の労働や、雇用環境の変化、労働や雇用にかかわる様々な課題について理解することができる。			生徒観察 発表				
	1 国際政治のしくみと動向 ①国際社会の特質 ②国際紛争を避けるしくみ ③国際連合と安全保障	・国家の三要素、主権国家の成立、国家間の諸問題と外交、国際法の意義と国際法の種類などについて理解することができる。 ・国際紛争を避ける仕組みとしての勢力均衡、集団安全保障、国際連盟の特色、国際連合の設立と仕組みについて理解することができる。			発表				